

【教養科目領域/基盤科目群】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
英語Ⅱ	NLA11_011	必修	1	1	後期
担当教員	研究室	電子メールID	オフィスアワー		
風間 絢日	415	ayaka.kazama	火曜日 14:30～16:00		
授業の目的・概要	「英語Ⅰ」での学習を踏まえて看護の専門分野に焦点を当て、看護の専門分野に関係する語彙や英語表現の基礎知識を身に付け、基本的な英語コミュニケーション能力の向上を図る。国内の医療従事者においても外国語能力が求められる場面が増えるなか、基礎的かつ実用的な英語力の養成を目指す。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	予習を必ず行ったうえで授業に臨み、また授業中には積極的にグループワークやペアワークに参加すること。また復習をすることで学習したポイントを定着させ、使える英語を身に付けることができる。				
教科書	Caring for People/著: 黛道子, 宮津多美子, Philip Hinder, 志田京子, 杉田雅子, 山下巖/センゲージラーニング/2014				
参考書	特になし				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	医療の現場に必要な語彙や表現を身に付けている。		HSU(2)(6),NS(2)(3)		
②	英語で積極的にコミュニケーションを取ろうとする態度が備わっている。		HSU(2)(6),NS(2)(3)		
③	聞いた英語を理解し、適切な対応をすることができる。		HSU(2)(6),NS(2)(3)		
④	学習した医療英語の知識を適切に活用することができる。		HSU(2)(6),NS(2)(3)		
⑤	様々な状況に応じて必要なことを適切に伝えることができる。		HSU(2)(6),NS(2)(3)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	ガイダンス	講義	学習目標を確認し、教科書 Unit 1 を予習する。	1	
2	Unit 1: 患者登録と生活習慣の聞き取り	講義	教科書 Unit 1 の復習をし Unit 2 の予習をする。	1	
3	Unit 2: 病歴および健康状態の把握	講義	教科書 Unit 2 の復習をし Unit 3 の予習をする。	1	
4	Unit 3: 病状や症状のアセスメント	講義	教科書 Unit 3 の復習をし Unit 4 の予習をする。	1	
5	Unit 4: バイタルサインの確認	講義	教科書 Unit 4 の復習をし Unit 5 の予習をする。	1	
6	Unit 5: 検体の採取	講義	教科書 Unit 5 の復習をし Unit 6 の予習をする。	1	
7	Unit 6: 検査の注意や指示	講義	教科書 Unit 6 の復習をし Unit 7 の予習をする。	1	
8	Unit 7: 痛みのアセスメント	講義	教科書 Unit 7 の復習をし Unit 8 の予習をする。	1	
9	Unit 8: 薬に関するアドバイス	講義	教科書 Unit 8 の復習をし Unit 9 の予習をする。	1	
10	Unit 9: 体の機能回復の介助・援助	講義	教科書 Unit 9 の復習をし Unit 10 の予習をする。	1	
11	Unit 10: 栄養と食事に関するアドバイス	講義	教科書 Unit 10 の復習をし Unit 11 の予習をする。	1	
12	Unit 11: 入院患者のケア	講義	教科書 Unit 11 の復習をし Unit 12 の予習をする。	1	
13	Unit 12: 救急における対処	講義	教科書 Unit 12 の復習を中心に Unit 1 から Unit 6 も復習する。	1	
14	Unit 1 から Unit 6 までのまとめと復習	講義	教科書 Unit 7 から Unit 12 の復習をする。	1	
15	Unit 7 から Unit 12 までのまとめと復習	講義	全 Unit の振り返りを行う。	1	
試	達成度評価・評価のポイント参照				

【教養科目領域/基盤科目群】

達成度評価							
総合評価割合(%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		50	0	0	0	50	100
総合力指標	知識・技術力	30	0	0	0	10	40
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	10	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	10	0	0	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	10	10
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
問題を見発見・解決する力		0	0	0	0	10	10
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法及び注意点					
試験	①	✓	毎週小テストを実施し、授業中に学習した内容の定着度により評価する。また学期末に筆記試験を実施し、授業で学習した内容の定着度について総合的に評価を行う。				小テストの添削および返却、試験の評価
	②						
	③						
	④	✓					
	⑤	✓					
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
その他	①	✓	単に出席するだけでなく、積極的に授業に臨む姿勢が求められる。授業中の態度や参加度も評価の対象となるため、授業中のペアワークやグループワークには積極的に取り組むこと。				授業内の教員によるコメントおよび助言
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
備 考							
他担当教員	なし						
教員の実務経験	カナダの大学にて学位取得、タイの大学の英語プログラムにて修士課程を修了した後、外国人患者を多く受け入れるタイの私立総合病院にて8年間勤務し、医療コーディネーション業務などを行う。日本帰国後は大学にて語学試験対策や英語学習の指導などに従事するとともに多文化共生活動や医療通訳者の育成・普及活動に携わる。						
実践的授業の内容	英語教授の経験と海外での経験を活かし、医療現場で使える実践的な英語を身に付けることを目指した講義を実施する。						
その他	英語のコミュニケーション面も重視するため、授業への出席および積極的な参加が非常に重要となる。単に出席するだけではなく、授業中のペアワークやグループワークにも積極的な姿勢で参加することが求められる。また、授業内容の理解度を高めるために予習をし、学習内容を定着させるために復習を必ず行うこと。日常的に英語に触れることで英語力を高めることができるので、毎日英語に触れる機会を作ることが望ましい。						